

「履歴書」および「研究・教育業績目録」の記入について

お手数ですが、以下の要領に沿って記入してください。シートは複数枚に渡っても結構です。

【履歴書】

1. 学歴は、高等学校卒業以降から記入してください。卒業・修了・中途退学等の記述は当該機関の用語にもとづいてください。
2. 職歴は、着任・退任・現在に至る等の事柄についても記載してください。

【研究業績目録】

(各項目の説明)

著書： 著書とはここでは、単著もしくは共著の研究書、注釈書などを指し、啓蒙書、教科書、学習参考書の類は対象となりません。なお、博士論文は、公刊されたもののみをこの項に記載し、未刊のものについては、記載いただけません。共著の場合、形式的には、原則として、背表紙または奥付に名前が明記されていなければなりません。例えば、「……研究会」といった表示では対象となりません。また、内容的には、単なる分担執筆、項目執筆ではなく、当該著作の総体に関わるものでなければなりません。ただし、分担執筆の場合でも、下記の「論文①」の条件を充たしていれば論文の項に記載することができます。

編著： 編著の場合、（講座、論文集など）、ただ単に名前が冠せられているにすぎないものは除き、研究論文に相当する分量・内容をもつ文章が含まれているものを記載してください。

論文： ①自己の専攻分野に関する研究論文であって、分量は 400 字詰原稿用紙 30～40 枚を基準とします。ただし、この基準に達しないものであっても、内容上、極めて学的価値の高い論文については、対象となる場合があります。

②連載したものに関しては、内容上、それぞれ独立し、完結していれば、各々は1篇と見なします。

③研究論文ではないが未発表資料の発掘など、学的価値をもつものについては論文と同等の扱いとします。ただしその場合、単なる紹介でなく、一定の学的追求がなされていないと見なされません。

口頭発表： 諸学会における研究発表を一応の内容とし、論文化していないものに限りま

上記以外の業績： 啓蒙書、教科書、学習参考書、辞典などの項目執筆、分担執筆、書評、学界時評、学界展望、資料紹介、書誌、展覧会の目録解説、講演、社会的活動など。

(各項目の記入例) ※日本文学に関する研究業績を記入する場合

名 称	種 別	発行・発表の 年月	発行所・記載誌・発 表学会等の名称	判型・ペーヅ 数担当ペーヅ	概 要
著書（単著・共著）・ 編著 例：『漱石と古典』 例：『文学という表象』 例：『日本文学論集』	単 著 共 著 共編著	○年○月 ○年○月 ○年○月	○○書院 ○○書院 ○○書院	A5 判 400P. A5 判 400P. 内 pp200～300 A5 判 500P. 内 pp200～300	本書では～ 本書担当箇所 「○○」では～ 本書を編著しさ らにその中で論 考「○○」を～
論文 ※1 例：「父の崩壊—『沈黙』 の世界をめぐって—」	単 著	○年○月	「○○論集」第○ 号（○○大学○○ 学会発行）	pp45～56	本論文において ～
口頭発表 例：「冥界からの逸脱」	—	○年○月	○年度○○学会春 季大会 於：○○ 大学	—	本発表では～
上記以外の業績 例：項目執筆『古典語 辞典』「をかし」以下 10 項	単 著	○年○月	○○書院	A5 判 400P.	

※1 修士論文・博士論文は掲載不要

【教育業績目録】

(各項目の記入例)

教育内容	職位・形態	実施・担当年月	実施・担当先	概要・担当科目等
例：大学におけ る授業科目担当	非常勤講師	○年○月 ～○年 ○月	○○大学	「○○○論」・「○○○学」各 1 コマずつ担当。(いずれも教職 再課程認可済み)
例：○○市にお ける教育実践賞 受賞	表彰	○年○月	○○市教育委員 会	○○年度○○分野の教育実践 における優秀教員として表彰 を受けた。

以 上